

様式3号（12条関係）

会 議 録

会議の名称	第2回吉川市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成17年2月10日（木） 午後1時30分から 午後5時00分まで
開催場所	市役所 第二庁舎 201会議室
出席委員(者)氏名	阿部民子(会長)、本竹博士(副会長)、福原輝美、田中陽子、 渡部孝子、篠原悦子、吉岡茂、飯塚二三男、高山友生、 伊勢谷英子、武部治
欠席委員(者)氏名	小野善明
担当課職員職氏名	環境課長 山崎 隆 環境課資源化推進係 係長 海老沼浩行 環境課資源化推進係 主事 内田麻美
会議次第及び会議の 公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事（公開） 1) ごみ減量への意識啓発及び教育の充実 2) ごみ発生抑制・排出抑制に向けた取り組みについて 3) ごみ減量化の推進について 4) その他 4 閉会
非公開の理由 (会議を非公開とした理由)	
傍聴者の数	1人
会議資料の名称	第2次一般廃棄物処理基本計画 吉川市清掃事業概要（平成15年度版）
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	渡部孝子委員 篠原悦子委員
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ あいさつ ○ 議事 <p>・それでは会議を開催します。定足数の確認をします。当審議会の委員は12人で、現在の出席委員は10名です。出席者数が過半数を超えておりますので、会議を開催します。議事に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。名簿の3番渡部孝子さん、4番篠原悦子さんを指名したいと思います。よろしくおねがいします。</p> <p>※14：00から11名となる。</p>
事務局	<p>1) ごみ減量への意識啓発及び教育の充実について</p> <p>[環境教育の推進]</p> <p>(事務局より説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等はあるか
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本「よしの風」の年間学習時間は決められているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の時間内に行っているため学習時間は決められていないが、環境学習に割いている時間は多いと聞いている。
福原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムは馴染んでいるのか。美化活動は大事だと思うが教室でごみの分別なども行ったほうが良い。また、教職員への周知方法は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムは県でも推進している。美化活動を含め、ごみの減量なども行ってもらいたい。吉川市に新任で配属された教員に吉川市のごみの現状やごみの分け方の体験などの環境学習を行った。市役所や出先機関でエコオフィス吉川を策定し実施している。学校でも教育委員会を通じて小中学校でも実施をしている。
武部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川小学校で「吉川ピカピカ大作戦」を行っているのは良いことだと思う。落ちているごみを拾うことは経験しないと身につかない。吉川小学校だけでなく全小中学校でも行ってほしいと思う。
篠原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の一環としてごみ処理施設を見学する機会はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東埼玉資源環境組合には小学生のときに1回は見学するようになっている。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムは良いと思う。子供達が養子縁組をした土地をきれいにしようとする。具体的な方法、場所などはどこで決めるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今は都市建設部の道路課等でアダプトプログラムを作成している。

吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムを安い労働力として使われては困る。環境教育という観点で行ってほしい。実施するにあたっての収集経費、備品はどうするのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・収集経費、備品の支給を検討している。収集後の処理は環境課と連携する。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷市では企業が熊谷環境基金を作った。吉川市でも企業がスポンサーになる基金などがあつたらよい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の環境教育はどのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・宮代町ではキッズISOを全小中学校で行っている。2月19日にキッズISOの取り組みを発表する予定。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な要望としては武部委員の全小中学校で美化作業を実施してほしいということでしょうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境課で出前講座として小・中学校に行けばよいのでは。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境課を事務局とするマイバッグの会で紙芝居を上演に行った経過はある。行政が行くよりも環境団体で行ったほうがよいのではないかと思う。行政としては牛乳パックのリサイクルなどを進めていきたい。学校給食の牛乳パックはメーカーに戻してリサイクルをしている。洗浄後、開いて乾燥してほしいとメーカーから要請されている。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年には難しいのではないか。昔のようにびんのほうが良いと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と環境課が連携して循環型社会の構築のための施策を推進することでよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了承
	<p>[意識啓発活動の推進]</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみ減量のお願いはどの程度進んだのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・350～360件回った。1月末現在のごみの搬入量は家庭系が前年比98.48%、事業系が前年比93.80%でトータル97.02%であった。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・10月にごみ処理手数料が上がったこともあつたと思うが、直接お願いに回ったのも大きいと思う。
飯塚委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみ減量のお願いはどのように行ったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東埼玉資源環境組合を構成している五市一町で作成した共通のパンフレットを持参し、循環型社会構築の必要性和東埼玉資源環境組合の現状について説明を行った。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについて何かあるか。

福原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・雑がみをもっとPRしてほしい。雑がみがリサイクルできることを知らない人も多い。また、50音別の分別方法を家庭に配れないのか。全員がホームページを見ることができるわけではない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・集団資源回収を行っている団体に雑がみのPRをしたほうがよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に発行する環境ニュースで雑がみの特集を予定している。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートを掛けたらカラスが来なくなった。ダンボールを燃えるごみに出す人がいる。取り残されたダンボールに紙を貼っておいても誰も持って帰らない。区域外からの持ち込みかもしれない。集積所とわかってしまう場所だと捨てられることが多い。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所にごみ減量のお願いをするだけでなく、ごみ減量に協力した企業にシールや賞状などを配布したら効果がでてくるのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・意識啓発活動の推進のため広報・ホームページを充実させる。また、説明会なども環境団体と協力し積極的に実施していくとする。
	<p>[グリーン（エコ）商品の利用促進] [ふれあい収集の実施]</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィス吉川は行政で行っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で目標を立てて取り組んでいる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・成果は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・電気代、オフィスペーパーの使用量が減った。印刷も再生紙を利用している。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文でISOについて調べた生徒がいたがISOを取るプロセスに意義があるという結果だった。吉川市の封筒はリサイクルマークもあり、下が封筒として使えるようになっているのでよい。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、環境ニュースでエコ商品のPRをしたほうがよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・エコショップ認定制度の認定項目でエコ商品を取り扱っているのかがあるので、認定時にもエコ商品をPRしていく。エコショップ認定制度についての通知を19店舗に出して、3店舗から申請が出ている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷市のふれあい収集のコストは？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の直営で収集している。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地区では65歳以上の方が約20名いるが民生委員などが手伝っている。
伊勢谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの方ではないが燃えるごみやかんなどは出しにいけても資源ごみは重くて出しにいけないという話を聞いた。近所の人をお願いしにくい環境なのかもしれない。お願いできるような地域での関わり

会長	<p>や協力しあうことが必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン（エコ）商品の利用促進はエコオフィス吉川を充実させ、さらに市民に対してはエコショップの活用などを推進していくこととする。
事務局	<p>[美化活動の推進]</p>
事務局	<p>[廃棄物減量等推進委員制度の創設]</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度については、平成15、16年度に実施した国体美化活動は一定の成果を上げたため毎年5月に実施している江戸川クリーン大作戦、彩の国ごみゼロ県民運動を統合し、市内一斉美化活動に変更を予定している。河川敷については、河川に面している自治会にお願いをしていく。
武部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉美化活動を年2回位行ったほうがよいのでは。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市が主催して行う市内一斉美化活動は1回とし、その他は各自治会で自主的に年数回行ってもらいたい。ごみの回収については環境課で支援をしていく。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川クリーン大作戦当日に大勢の市職員が参加しているが、経費の問題もあるだろうから当日参加ではなく事前のPRをしてもらったかどうか。
福原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育で行っている学校周辺の美化活動と地域美化活動を学校と連携をとって一緒にできないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動については市内一斉美化活動と地域美化活動を充実させることでよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了承
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進委員制度は有効だと思う。一年間はお金をかけてでもごみの分別などを徹底した方がよい。
武部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進委員制度は創設するということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・行政側では委員の役割や身分についての問題があるため迷っている。
伊勢谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員制度が創設され指導ができるようになれば分け方・出し方が徹底されるのでは。委員制度ができたらいいと思う。資源ごみの持ち去りも防ぐことができるのでは。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域の実体を知らないと言えがでない。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体で行おうというのではなく、地区（駅南など）に分けた方がよいのでは。他の地域の実体もわからないし、地域ごとにテーマも異なると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民間のトラブルが多い。なぜあなたが注意できるの？など。委員制

<p>会長 委員</p>	<p>度があった方が注意できる。次回までに近隣のこまやかな状況等を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進委員制度は次回再検討でよろしいか。 ・了承
<p>事務局 事務局</p>	<p>2) ごみの発生抑制・排出抑制に向けた取組み [生ごみ処理機の普及促進] [集団資源回収の推進] [マイバッグ運動の推進] [ごみ処理有料化の検討] [事業系ごみの排出指導]</p>
<p>事務局 事務局</p>	<p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の補助金は上限5万円だが、実勢単価が下がっている。よって、4月から上限を3万円に下げる予定である。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の補助制度は平成11年度から行われているが、平成11年度に購入した人がまだ使っているのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・追跡調査は行っていないが、生ごみ処理機を購入する人は環境に関心を持っている人なので使っていると思う。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機については、拡大を含め普及につとめることとするでよいか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団資源回収の補助単価を4月から1kgあたり7円から5円に引き下げ、かんを対象から外す予定である。
<p>武部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と別に集団資源回収の団体を作り、2ヶ月に1回行っている。補助金は団体内で使っている。補助単価が7円から5円に引き下がると回収量が減るのではないか。集団資源回収の方が財政はプラスになるのでは。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成2年度から一年間は補助単価が10円であった。これはごみ処理が困難な状況であった為、東埼玉資源環境組合から上乘せがあったと聞いている。昔は古紙の値段がつかなかった。
<p>本竹委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙・布の収集後の流れは。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙問屋に運ばれてリサイクルされる。
<p>武部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政回収の収集委託料は。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度は780万円。今年度は約1000万円。
<p>武部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回収量は。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度は974トンであった。今年度は更に上回る見込みである。

本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> 補助単価が7円から5円に引き下がると、回収量はどうなるだろうか。集団資源回収をやめてしまう団体もあるかもしれない。
武部委員	<ul style="list-style-type: none"> 集団資源回収への参加を呼びかけるといいつつ、補助単価を引き下げるといのは矛盾しているのでは。
高山委員	<ul style="list-style-type: none"> 個人的には集団資源回収の方が良い。集団資源回収の方がきれいな紙が多く、不純物が少ない。行政は集団資源回収があればステーション回収をしなくてもいいのだから集団資源回収の方がいいのでは。
本竹委員	<ul style="list-style-type: none"> 予想では集団資源回収をやめてしまう団体が多いと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 来年度から旭・三輪野江地区も紙・布の収集を始めるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 始める予定である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 集団資源回収の推進については、ごみ減量・資源化に有効な手段の為市の現況を確認し引き続き実施していくことでよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 了承
	<p>3) ごみ減量化の推進</p> <p>[容器包装リサイクル法への対応]</p> <p>[リサイクル可能なごみの分別]</p> <p>[ごみコンテナ収集地域の拡大]</p>
事務局	(事務局より説明)
会長	<ul style="list-style-type: none"> 五市一町の中で平成17年度からペットボトルの分別収集を実施するところもあるようだが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 八潮市ではモデル地区、拠点回収を4月から実施を予定している。草加市ではモデル地区で平成17年度末から実施を予定している。
篠原委員	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルの分別収集の見通し、経費など審議会の中で知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現在、報告書を取りまとめているところである。抜粋して次回の審議会で配布する予定。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルの分別収集という主旨はいいが、自治体の負担が多く実体とかけ離れているのが現状である。中国での需用があり、問題も多い。
伊勢谷委員	<ul style="list-style-type: none"> 収集をしたペットボトルを中国に売却している自治体も増えていると聞く。中国に売却をすると国内での資源の循環が壊れてしまう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市では容器包装リサイクル法に則ったリサイクルは自治体負担が大きいので考えていない。民間業者に持っていき、処理をする予定である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装リサイクル法への対応についてはペットボトルの分別収集報告書をもとに平成18年から実施していくこととし、その他容器包装

